

京都市主催「耐震フェア」に出展 ～「そんぽクイズ」で地震保険を啓発～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：白髪 憲司・三井住友海上火災保険株式会社 京都支店長）では、2025 年 9 月 3 日（水）、4 日（木）に京都市内のゼスト御池河原町広場において、京都市主催の「耐震フェア」に出展し、地震保険の啓発活動を行いました。

本フェアは、京都市が、地震災害に強い歴史都市「京都」の実現を目指して、防災の日（9 月 1 日）および防災週間（8 月 30 日～9 月 5 日）の機会に、すまいの耐震化について市民に考えていただくため開催したものです。

当協会は、8 月 29 日から、広報キャラクターに芳根京子さんを起用した 2025 年度地震保険広報活動を開始しており、地震保険の必要性を改めて呼びかけるため、本フェアに出展しました。

当損保会のブースでは、来場者に「そんぽクイズ」を実施し、地震リスクへの経済的な備えとして、地震保険の意義を伝えるとともに、当会サイトの地震保険料シミュレーション体験により、地震保険を契約した場合にかかる年間保険料等を具体的にイメージしてもらいました。

また、横幅 7 メートルの減災絵巻によるくらしの中での防災・減災を考える展示を行いました。

来場者からは、「地震保険に割引制度があるとは知らなかったので、家に帰って確認してみる」という声もあり、耐震に興味がありフェアに訪れた方々だけでなく、近隣店舗への来店者や、授業で訪れた近くの小学校の児童らにも「そんぽクイズ」を通じて地震保険について考えてもらう機会になりました。

当損保会では、2021 年 6 月に京都市と「損害保険に関する連携・協力についての包括連携協定」を締結しており、引き続き、京都市と連携して地域防災力の向上に取り組んでいきます。



耐震フェアの案内パネル



クイズやシミュレーションをする来場者



減災絵巻



減災絵巻を見学する児童